

加速しよう、未来を。



2026年6月26日

関係者各位

株式会社ベリサーブ

自社開発のソフトウェアサプライチェーン管理パッケージ「SBOM. JP」 新たに「AIエージェント機能」搭載 ～脆弱性の影響範囲と対応方針を示し、膨大な脆弱性管理工数を約70%削減～

ソフトウェアの品質向上支援サービスを提供する株式会社ベリサーブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：嶋原 忠大、以下 ベリサーブ）は、ソフトウェアサプライチェーン管理パッケージ「SBOM. JP（エスボムジェイピー）」に、2026年7月31日より新たにAIエージェント機能を搭載します。ソフトウェアコンポーネントの脆弱性が自社製品に与える影響調査を自動化し、確認作業の負荷軽減に寄与します。

ソフトウェアサプライチェーン管理パッケージ「SBOM. JP」
<https://www.veriserve.co.jp/service/detail/sbomjp.html>

■背景

製造業のソフトウェア製品やサプライチェーンを狙ったサイバー攻撃は後を絶たず、製造業におけるソフトウェアサプライチェーンの安全性確保はますます重要性を増しています。

また、OSS（Open Source Software）の利用拡大とソフトウェアの複雑化により、ソフトウェアの脆弱性管理において、膨大な脆弱性情報から自社製品への影響の有無を迅速に判断・対応することが求められています。

ベリサーブが提供する「SBOM. JP」では、脆弱性情報と自社が運用するSBOM（Software Bill Of Materials）とのマッチングを自動で行っています。このたび、脆弱性が自社製品に及ぼす影響調査についてもAIエージェント機能により自動化し、さらなる効率化を実現します。

従来、人手で情報収集していた脆弱性の影響調査は、負荷が高く属人化しやすい作業でした。そこで、AIエージェント機能により、脆弱性情報の収集と要約、検査方針の提示を行うことで、運用の効率化を目指します。

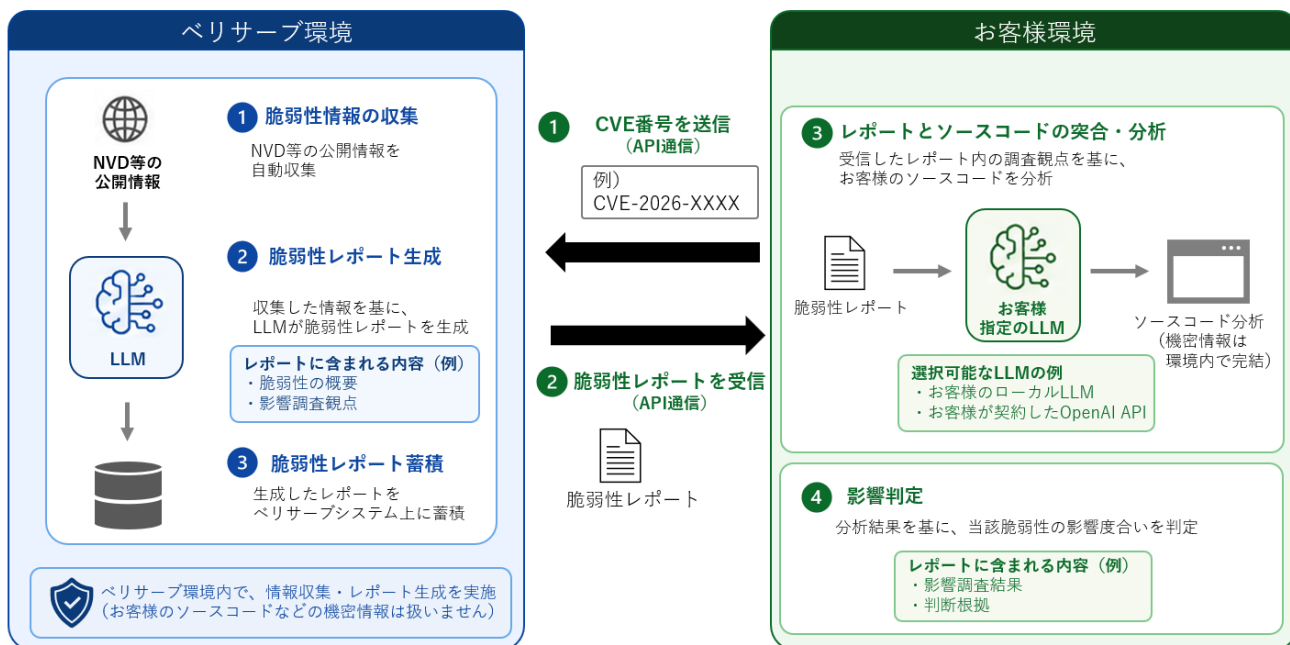
■AIエージェント機能の概要

膨大かつ複雑な脆弱性情報をLLMが収集・要約し、自社のSBOMと突き合わせてマッチした場合、影響範囲と対応方針を提示します。これにより、人手での脆弱性影響調査と比較し約70%^{※1}の工数削減を実現します。

<特長>

- ・LLM（Large Language Model）を活用し、脆弱性発見時にこれまで目視で行っていた影響範囲に関する情報を自動で収集・要約します。
- ・自動で収集・要約した情報を基に、LLMが製品のソースコードを分析し、検査方針とその根拠を提示します。これにより、検査結果の透明性が高まり、第三者への説明に必要な根拠を明確に示せるようになります。
- ・お客様が現在利用しているLLMやSBOM運用の設計に組み合わせて利用できます。

※1 当社調べ



AIエージェント機能の概要

■「SBOM. JP」について

「SBOM. JP」は、ベリサーブが開発したソフトウェアサプライチェーン管理パッケージです。SBOMに含まれるコンポーネントやライセンスなどの管理をはじめ、マッチング機能によりコンポーネントの脆弱性を判別します。また、チケット機能により問題に対する対応状況も把握できます。セキュリティ対策を包括的に支援する「SBOM. JP」を活用することで、サプライチェーン全体の安全性を確保し、潜在的な脆弱性をより効果的に管理できます。

■今後の取り組み

「SBOM. JP」では、2026年9月11日から報告義務が発生する欧州サイバーレジリエンス法（EU CRA）^{※2}をはじめとする法規対応をより容易かつ効率的に実施するための機能拡張を予定しています。

ベリサーブでは、今後も生成AIを活用した効率化を推進し、脆弱性対応の迅速化と品質向上を支援します。併せて、SBOM活用の高度化を通じて、ソフトウェアサプライチェーン全体の安全性確保に貢献してまいります。

※2 欧州サイバーレジリエンス法（EU CRA）：デジタル要素を含む製品のサイバーセキュリティ確保を製造業者、輸入業者、流通業者などサプライチェーンに関わる事業者には義務付ける欧州の規則。2026年9月11日から脆弱性、インシデント報告義務に関する部分が適用開始となり、2027年12月11日からは全面的に適用される。

■「製造業サイバーセキュリティ展」への出展について

ベリサーブは、2026年7月1日～3日に東京ビッグサイトで開催される「製造業サイバーセキュリティ展」に出展します。会期中はベリサーブのブースにて、AIエージェント機能が搭載された最新の「SBOM. JP」のデモンストレーションをご覧いただけ、併せて当社社員から直接ご説明することも可能ですので、ぜひご来場ください。

<https://www.veriserve.co.jp/seminar-event/2026/event-20260701-03.html>

■株式会社ベリサーブについて

設立：2001年7月24日

代表取締役社長：嶋原 忠大

本社：東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル

事業内容：ソフトウェア事業

1. ソフトウェアテスト・品質関連事業
2. サイバーセキュリティ関連事業
3. コンサルティング関連事業
4. ソフトウェア開発関連事業
5. その他事業

URL：<https://www.veriserve.co.jp/>

【リリースに関するお問い合わせ先】

広報部 広報課 椎名、太田

TEL：050-3640-8194

MAIL：press@veriserve.co.jp

※掲載されている製品名、会社名、サービス名は、当社の商標または登録商標です。